



東京の中学生が只見で農業体験
江戸川区立上二色中学校・林間学校

◀只見の自然に大感動「農業って楽しい！」

東京都江戸川区立「上一色中学校」の2年生142名が林間学校の一環で7月30〜31日の1泊2日、只見町内の42軒の受け入れ農家に滞在し、農村の生活を体験しました。生徒は開村式で農家の人と顔合わせをした後、3から5名に別れ各農家に宿泊、ジャガイモ掘りやトマト収穫、ささまき作りなど農家ごとに色々な農業を体験しました。長靴を履いて畑に入りジャガイモ掘りを始めると、バツバヤ

てんとう虫、ミミズなどに驚き思わず逃げてしまう様子も見られました。すぐに作業に慣れ一生懸命ジャガイモを収穫していました。ささまき作りでは、初めての作業に戸惑いながらも農家の方に教えられながら、器用に作り上げていました。夕食には、採れたての夏野菜が入ったカレーを食べたり、バークユーで空腹を満たしました。夜は、花火をしたり散歩を楽しんだりして過ごしました。

閉村式では生徒代表のあいさつがあり「東京では味わうことのない貴重な体験ができました。楽しかったです。温かく迎え入れていただき、ありがとうございます」と話しました。最後にお世話になった農家の方と握手を交わしたり抱き合ったり、中には涙を流し別れを惜しむ生徒も見られ、農家の方とふれあえた最高の思い出をお土産に見て後にしました。

農村体験はどうでしたか？ご感想を：

- トマトがおいしかった！
- とうもろこしが甘くてびっくりした！
- バーベキューもお餅も冷し中華もおいしかった！
- 畑に大きなミミズがいて楽しかった！
- 田子倉ダムがとてもきれいで静かで、あっと見ていたかった！

From 2年4組 森 ななかさん



- 虫がたくさんいて、中でもムカデは初めて見ました。
- どこを見ても辺りは山や森林でした。
- 本当に農家に来て良かったと思います。忘れられない2日間になりました。とても楽しかったです。また、只見町に遊びに来たいと思います。

From 2年4組 城和 彩菜さん



- くるみ割を初めてやった。
- マロンを初めて食べた。おいしかった。
- 農家の方や近所の方々があひく優しくった。この農家に来て良かったと思えました。短い間だったけど、あひく楽しかったです。只見町にまた来たいな～と思えました。

From 2年4組 道政亜優美さん



火災・非常時には協力し消防力を強化!

「只見町・金山町・昭和村」 消防相互応援協定打合せ会議

災害地における人的、物的被害を最小限度に防圧し治安維持に努めることを目的とし、只見・金山・昭和の3町村で平成12年5月に結ばれた消防相互応援協定に基づく会議が、7月23日に只見町で開かれ、各町村の消防団長はじめ消防団幹部や関係者15名が出席しました。

最初に馬場光男只見町消防団長のあいさつがあり、続いて目黒只見町長が「消防団各位には町民の安全を守るという崇高な任務にあたっていただいています。この会議により町村間の応援体制強化がさらに充実することを期待します」とあいさつをしました。

次に各組織の幹部や担当者の紹介があり、協議では各町村の災害発生状況、消防力（団員数や設備規模など）、予算、施設整備予定などについて意見が交わされました。特に消防行政の課題では各町村とも団員数

の減少があげられる中、昭和村は退団した元消防団員を機能別団員として再確保する制度を導入し解消を図るなどの説明がありました。

今後、定期的に会議を開催し応援体制の共通認識を図り、迅速な対応に努めることを確認し会議を終了しました。



▲ あいさつをする目黒町長

集落を見直し課題解決へ…

3地区センターで集落点検実施

各地区センターでは、全集落を対象に集落点検を行っています。この活動は、集落が持つ総合的な力「集落力」を様々な観点から点検し集落の価値を見直しながら、具体的な課題を把握その解決策を住民自らが考え実践していくことを目的に展開されています。

点検は、地区センター職員が直接集落に向き、人口・世帯の動向、医療・福祉サービスや生活物資の調達などの状況、集

落内の支え合いの状況、農地・山林などの管理状況、地域資源他集落との協力などについて住民と意見交換をしながら調査しています。この結果を基礎として各集落の課題解決につなげていくことが重要と考えます。

今後、確実に進行する高齢化などで「集落力」の維持は厳しくなると予想されますが、この取り組みが活性化の基盤となり有効に機能することを期待します。



▲真剣に「集落力」をチェック

こぶし苑開所20周年記念行事



▲くす玉を割り、20周年を祝う目黒町長ら

只見町介護老人保健施設「こぶし苑」が開所20周年を迎え、7月1日に同施設で記念行事が行われました。はじめに、職員手づくりのくす玉が準備され、目黒町長、高柳施設長、入所者代表、介護アドバイザーの青山幸広氏が盛大にくす玉を割ると中からは一文字ずつ分担し入所者の方が直筆された垂れ

幕が現れ、会場は拍手と歓声につつまれました。

昼食には20周年を祝い特製の「お祝膳」が用意され、入所者の方と職員が一緒になり、目黒町長も同席し、いつもと違うご馳走に少々驚きながらも嬉しそうに食べました。

午後はカラオケ大会が開かれ、入所者、職員、介護アドバイザー青山幸広氏が趣向を凝らした衣装で、自慢の歌声や踊りを披露しました。笑いあり、涙ありの楽しいひとときを過ごしました。

国際レベルの心肺蘇生法を学ぶ



7月4日、5日の2日間、AHA（アメリカ心臓協会）主催による「BLSヘルスケアプロ

バイダーコース（G2005）研修」が只見地区センターで行われ、朝日診療所、保健福祉センター、南会津広域消防署、こぶし苑、只見ホームなどの職員50名が受講しました。

研修は「成人、小児乳児までのあらゆる年代に対する一次救命処置」「気道異物の除去」「AEDの使用」について講義や実技指導があり、受講者は緊張しながら真剣に学びました。受講者全員がこの国際資格を取得しました。

日食を見て川辺で遊ぼう！ 夏休み子どももイベント・第一弾

町内の小学生30名が参加し、夏休みのイベントが7月22日に黒谷川の川辺で行われました。

イベントでは、講師に川俣恵美先生（只見中教諭）を迎え、日本の陸地では6年ぶりとなる日食を観察、さらに川辺の生物や水中の魚なども観察しました。川俣先生の指導により専用のサングラスで日食を確認し

た参加者は、初めて目にした珍しい現象に驚きと感動で我を忘れ夢中で太陽に注目していました。

昼食は、みんなで焼肉を食べ、午後は川遊びを存分に楽しみました。最後に反省会が行われ解散となりました。夏休みになり間もないイベントでしたが、この貴重な一日は忘れることのない思い出となったことでしょう。



▲「まだかな～」

教育委員に辞令交付



6月定例議会において教育委員の選任について同意がなされました。新教育委員には、6月30日付けで馬場都美さん（49歳・梁取）が就任しました。

馬場さんの任期は、平成21年6月30日から平成25年6月29日までとなります。

就任にあたって馬場さんは、「保護者の立場で意見を述べ、只見町の教育発展のために尽くしたいと思います」と抱負を話されました。

人権擁護委員に藤田節子さん



平成21年7月1日付けで藤田節子さん（只見）が、只見町担当の人権擁護委員として法務大臣の委嘱を受けました。

人権擁護委員は全国の市町村に配置され、地域の中で人権思想を広め、人権侵害が起きないように見守り、人権を擁護する取り組みを行います。住民の皆さんにとって、人権に関する一番身近な相談相手となる人です。

只見町では、藤田さんのほかに川原田紹二さん（小林）、菅家達朗さん（黒谷）も人権擁護委員の委嘱を受けて活動しています。

保護司に目黒芳雄さん



平成21年6月1日付けで目黒芳雄さん（只見）が、只見町担当の保護司として法務大臣の委嘱を受けました。

保護司は犯罪や非行に陥った人の更生の支援や、犯罪予防の啓発などを使命とし活動します。

また、保護司として活動された吉津英世さん（長浜）が任期満了により退任されました。長い間ありがとうございました。

県民スポーツ只見町予選大会

体力の向上と社会体育の振興を目的に7月12日、第62回福島県総合体育大会県民スポーツ大会只見町予選大会が町下グラウンドと町民体育館を会場に開催されました。成績は次のとおりです。

▼ 壮年ソフトボール

- ①朝日 ②只見 ③明和
- 最優秀選手・渡部理一（朝日）**
- 優秀選手・鈴木嘉津雄（只見）
- 敢闘賞・山内孝志（明和）
- 特別賞・鈴木厚（只見）

▼ 家庭バレーボール

- ①只見 ②朝日
- 最優秀選手・鈴木真紀（只見）**
- 優秀選手・渡部弥（朝日）
- 特別賞・飯塚千代江（只見）

（敬称略）